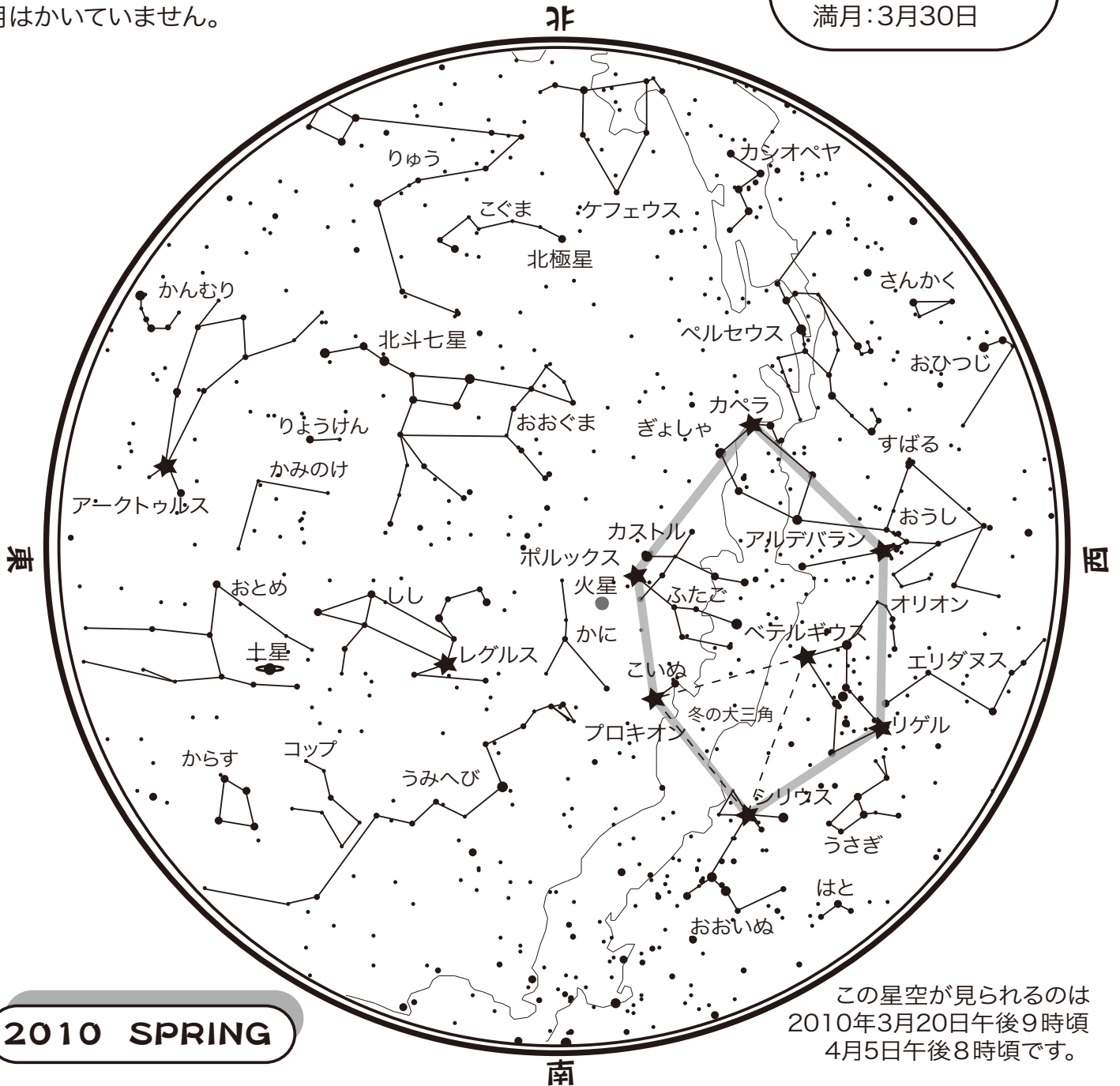


★ 姫路で見る3月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

新月:3月16日
上弦:3月23日
満月:3月30日



2010 SPRING

この星空が見られるのは
2010年3月20日午後9時頃
4月5日午後8時頃です。

東の空にのぼってきた動物の星座が、春のおとずれを知らせてくれます。かに座、しし座、うみへび座はギリシャ神話では、人々を困らせていた化け物星座として登場します。まずは、? (はてな) の裏返しと一等星のレグルスを目印に、しし座から探してみましょう。

うみへび座はこいぬ座を食べようとしているようです。こいぬを追うようにつづくウミヘビの体は、星座の中で最長!なんと、夏の星座のてんびん座あたりまで続いているのです。ヘビの体に沿うように上ってくるのは、からす座やコップ座などのミニ星座です。神に仕えていたカラスが水汲みに使ったコップと、神様に嘘をついた罰として夜空に張り付けにされたカラスの姿です。

星座の中を移動して見える惑星の間では、かに座に火星、おとめ座に土星が輝いています。

南西の空には冬の星座の星々が輝きます。それぞれの星座で輝く一等星を線で結んでできるのが、「冬のダイヤモンド」です。オリオン座のリゲル▶おおいぬ座のシリウス▶こいぬ座のプロキオン▶ふたご座のカストル▶ぎょしゃ座のカペラ▶おうし座のアルデバランとたどってみましょう。にぎやかな冬の星空は、もう少しの間見ることができますよ。